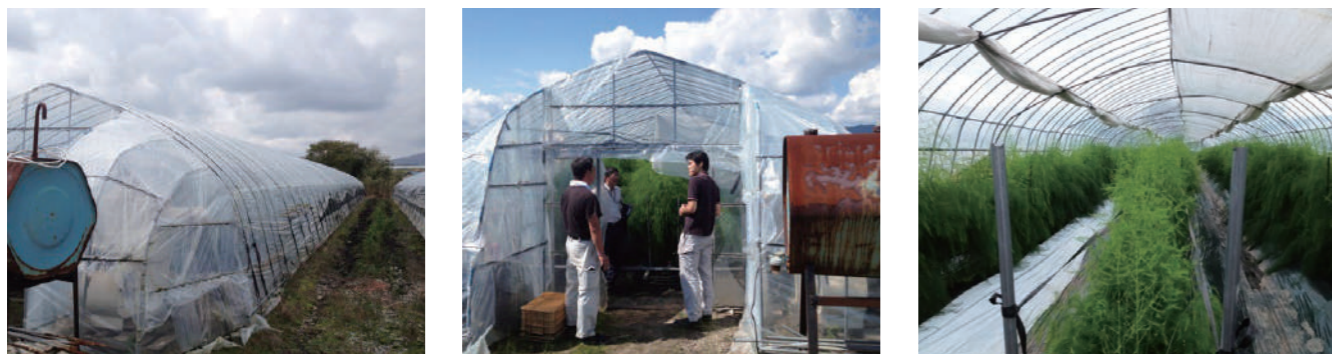


クリンテートFX-UVの効果確認試験



試験目的

クリンテートFX-UVの効果確認試験

試験作物 及び品種

グリーンアスパラガス

試験資材 及び数量(規格)

クリンテートFX-UV(0.1mm×740cm×55m) 1枚

慣行資材

イースター、アグリスター、スカイコート5
コーティング5+1、ハイバールコート

栽培方法

播種日	定植日	収穫日
2月	4月初旬	H26年3月予定
【栽植密度】 株間：25cm	【ハウス】 間口 5.4m× 長さ 50m	

資材使用期間

5月21日～(通年展張)

試験区面積

270㎡

アスパラガス 防除暦 (JA新はこだて)

月	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
生																								
ス																								
テ																								
ー																								
育																								
シ																								
と																								
病																								
害																								
防																								
虫																								
除																								
発																								
生																								
時																								
期																								

凡例 発生時期および防除適期 : ■ 発生状況により防除 : □

試験結果

- 作業性について(慣行品との比較)**
慣行品と比較して柔らかく感じた。
- 作物の生育状況または、収穫への影響**
病害虫の発生がほとんどなかったため、順調に生育した。
来年収穫するアスパラガスの害虫被害軽減が期待できる。
- 栽培管理上の優位点あるいは問題点について**
【優位点】：防除回数が減ってコストダウンと省力化につながる。
【問題点】：花の色によっては使用できない。
- 資材の強度・耐久性・崩壊性について**
透明性・流動性・保温力など、現時点では慣行品との違いは見られなかった。
- 雑草・病害虫の発生について**
病害虫の発生はほとんど見られなかった。
害虫には特に有効であると感じた。

モニター感想

病害虫の発生はほとんど見られなかったが、普及センターのアドバイスもあり、予防的に防除を行った。(殺菌剤1回、殺虫剤2回)
病気に対する効果は一般農POと変わらないように感じるが、この地域の防除体系から考えると、UVカットフィルムの効果であると判断される。
フィルムは少し割高だが、防除回数の削減につながり、総体的なコストダウンが期待できることから、影響

のない作物については、今後はUVカットフィルムを使用したい。
現時点ではクリンテートと他銘柄の品質差はなく、展張3年目頃に判断できると思う。

JA担当者の感想(上磯支店 阿部 氏)

管内組合員の一般的な防除作業(殺虫剤3~4回散布)と比較して、防除回数の削減効果が確認できた。
UVカットフィルムと汎用品の価格差は、0.1mm×740cmであれば、1m当たり約50円、50m当たり約2,500円であり、今回使用した殺虫剤は1本(100g)で約5,500円である。
フィルムはやや割高になるものの、防除回数の減少につながることから、トータルで見るとコストダウンにつながると考えられる。
なお、自宅のハウスでもUVカットフィルムを今年初めて使用したが、害虫への効果は一目瞭然であった。
一部使用できない作物はあり注意は必要だが、当管内でもUVカットフィルムを積極的に推進していきたい。

今後の使用について

継続して使用したい。
影響のない作物については、今後はUVカットフィルムを使用していきたい。

将来希望する資材について

腰原反にも流動剤塗布品を望む。
遮光・遮熱関係の新資材や情報が欲しい。